

2年度予算を
可決

3日間にわたり
延べ262件の質疑
4日目に議員間討議



今回の議会には、令和2年度一般会計・各特別会計・下水道事業会計の予算が提出されました。予算特別委員会での審査後、本会議において、一般会計を賛成多数で、また、各特別会計・下水道事業会計については全会一致で可決しました。

予算特別委員会で審査

町側から議案の提出を受けた議会では、直ちに予算特別委員会を設置し、委員長に山崎栄議員、副委員長に榎本義輝議員を選出。議長を除く15名により、3日間にわたって審査を行い、4日目に議員間討議を行いました。

本会議では、一般会計予算について、賛成・反対の討論が行われ、起立採決の結果、賛成13名、反対2名で可決しました。8件の特別会計および下水道事業会計については、全会一致で可決しました。

なお、下水道事業は2年度から地方公営企業法の一部適用により、会計方法が変わりました。

会計名	予算金額	前年度比
一般会計	144億3900万0000円	13.2%減
特別会計	国民健康保険	35億4135万2000円 5.4%減
	駅西土地区画整理事業	11億1685万4000円 27.2%減
	介護保険	23億9367万9000円 0.5%増
	後期高齢者医療	7億3722万4000円 4.6%増
	殿ヶ谷財産区	412万1000円 1.1%減
	石畑財産区	1351万4000円 4.7%減
	箱根ヶ崎財産区	770万0000円 11.4%減
	長岡財産区	77万8000円 1.0%減
下水道事業会計	予算金額	前年度比
収益的収入	12億8092万5000円	—
収益的支出	11億9688万5000円	—
資本的収入	4億4413万8000円	—
資本的支出	6億836万3000円	—

横田基地では、オスプレイの追加配備が予定されるなど、これまでになく状況が進み、一層の基地対策を求めます。児童館が一カ所しかなく地域で困っており、子供の居場所が求められている。ゴミ問題では、資源化率など多摩地区でも低い水準であり、啓発や新たなリサイクルなど積極的に進めるべきである。栗原地区の区画整理は見通しがなく、期待できるものではない。図書館のリニューアルが予定されているが、老朽化・手狭など問題が残り、住民の要求を充足するとは言えない。新庁舎は完成に近づいたが、住民が置き去りにされてはいないだろうか。

近藤 浩 議員

反対

令和2年度予算は、子供から高齢者まで健康に暮らせるように、任意予防接種の助成拡充や、認知症の方を見守るシステムの開始など手厚い行政運営が感じとれた。また、学校教育ではICT機器を活用し、教員の負担軽減の準備を進めるとともに、地域未来塾の創設など学力向上への意欲が伺えた。図書館のリニューアルなど課題は残るものの、本予算は概ね適正であると判断する。

討論(要旨)

賛成

榎本 義輝 議員

pick up 1 均等割りの一部を引き上げ

議案第6号 瑞穂町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

一般会計からの赤字補填分の解消を加入者の生活に配慮しながら、計画的に進める必要があるため、保険税の均等割り額の一部を引き上げるものです。その内容は、医療分が25000円(1000円増)、介護納付分が15000円(2000円増)となります。これにより、調定額では1140万円の増額を見込みます。

Q 調定額の総額および率は。

A 総額7億2777万8900円となり、1.6%の増となる。

pick up 2 町営グラウンドの夜間使用を延長

議案第7号 瑞穂町体育施設条例の一部を改正する条例

体育施設の休場日および開場時間の変更を行い、利用者の利便性の向上を図るため条例を改正するものです。主な改正は、これまで冬期間を11月から2月としていたものを、10月から3月に改め、また、町営グラウンドの野球場と庭球場の冬期間の夜間使用が可能となるなどです。なお、照明施設のないグラウンドなどの冬期使用については、午後4時30分までとなります。



町営グラウンドのナイター設備

Q この改正によりどれぐらいの経費が増額となるのか。

A 初年度は照明の電気料金、管理委託料およびシステム改修費として約88万円を見込んでいる。

Q 夜間使用について町民からの要望は。

A 個人の方へ意向調査をしたところ、約7割の方から夜間利用を望む声があった。また、団体の方も利用したいとの意向であった。

pick up 3 一般会計約5億9000万円を減額補正

議案第17号 令和元年度瑞穂町一般会計補正予算(第5号)

5億8789万6000円を減額し、総額で165億8232万3000円。

Q 新庁舎建設に伴う事務所移転業務委託料が約9700万円減額となっているが。

A 主なものは、都の防災行政無線の移設費4400万円。情報ネットワークおよび既存システムの移転作業で約3000万円。電話設備で1600万円などが減額となった。

Q 図書館改修では当初総額約6億5000万円の中で改修すると説明していたが、今回の補正では、約8400万円増額し、総額を約7億3400万円としたが理由は。

A 主な理由は3階部分と2階部分の一部の撤去費用と新たに住民の意見を最大限反映した配架を取り入れたため。



新庁舎屋上に移設された都の防災行政無線